

第2回土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会での主な意見等について

No.	主な意見等	回答・対応
1	<ul style="list-style-type: none"> 平成36年度の上西小の児童数については、戸崎原地区の児童も含まれているのか。また、今後の戸崎原地区児童の展望を伺いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 含まれていない。 かすみがうら市では平成28年度に小学校の統廃合があり、戸崎原地区も通学バス運行の対象地区となっているため、今後増えないと推測される。(平成29年度時点では上西小に4名在籍)
2	<ul style="list-style-type: none"> 戸崎原地区の児童はどのように登下校しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者による送迎で登下校を行っている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 常磐線の横断は、子どもの安心安全のためには悩ましい。 学区の見直しではなく、方策2や方策3で検討してくのがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見として頂戴する。
4	<ul style="list-style-type: none"> 4校での統合は規模が大きくなりすぎることと常磐線横断による危険性、安全確保の面から、神立小は含めず3校での統合がいいと考える。 3校での統合については、既存校舎の利用ではなく、五中付近に新設がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見として頂戴する。
5	<ul style="list-style-type: none"> 神立小を除く3校での統合案に賛成である。 おおつ野地区の住民は学校が近いということで土地を購入している方が多いと考える。既存校舎利用の場合には抵抗が大きいと考えられるが、新設校であればそういった抵抗も小さくなるのではと考える。おおつ野地区住民の意向を伺いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> まだ住民の意見を聞いていない。 自治会をおおつ野5, 6丁目と7, 8丁目に分けようと考えているが、今後の総会等で自治会の件と合わせて聴取する。
6	<ul style="list-style-type: none"> 神立小を除く3校での統合案に一部賛成だが、新設するには財政的に困難をきたすのではないかと考える。 4校の統合には賛同しない。神立小を含めなくて統合となると、上西と菅谷では適正規模を満たしていないことから、残る3校での統合がいいと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見として頂戴する。

No.	主な意見等	回答・対応
7	<ul style="list-style-type: none"> ・神立小を除く3校の児童について、小1～3年までを既存のどこかの小学校に、小4～6年を別の小学校に就学させ、五中の生徒が増加した際に、残りの小学校を利用してはどうかと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見として頂戴する。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・平成36年度が新しい学校開校の目標では遅い。 ・上西小の複式は早期に解消する必要があるため、まずは上西小と菅谷小を統合させることを考え、その後上大津全体を考えてもいいのではと考える。 ・複式学級を経験したこともあるが、かなり不都合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見として頂戴する。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・上西小の保護者の中では、上西小と菅谷小を統合させ、スクールバスで通学するといった意見が多くなってきている。 ・上西小の保護者及び子供たちは平成36年度まで待ってられない。 ・上西小としては、何らかの合併をしていただき、複式学級の早期解消を望んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見として頂戴する。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の説明会時に学校を作るときに国から補助金が出ると伺ったが、どの程度なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には、補助対象になる部分の1/3が国から出る。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・上西小については早期に対応をした方がよい。 ・適正配置の事業に合わせてしまうと遅くなってしまわないかと考える。通学区の変更等、早期にできることはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上西小については、早急な対応が必要だと考えている。 ・この検討委員会において、上大津全体の方角性についての提言は約2年後にいただくこととなっているが、上西小の早期対応について、最終提言の前に中間報告ということで市の方に話をいただくこととなれば、市もそれに基づいて対応していく。

No.	主な意見等	回答・対応
1 2	<ul style="list-style-type: none"> 学校では行事が多くあり、登下校の時間も変わるため、大人数（例えば平成36年度の上東小の児童数見込み457名全て）をバスで移動させるのは現実的に厳しい。バスで移動させる児童はできるだけ少なくした方がいいといった考えで話し合いを進めた方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見として頂戴する。
1 3	<ul style="list-style-type: none"> 適正配置の進め方について、事務局は考えを持っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で具体的にこれだという結論ではないが、適正配置の3つの方策のうち、「方策1：通学区域の見直し」については、上大津地区の小学校すべてを適正規模とすることが難しいこと、また、地域コミュニティへの影響が大きいことから、ハードルが高いと考えている。そのため、上大津地区の適正配置を今後より具体的に考えていく中では、「方策2：隣接する学校との統合」又は「方策3：学校の再編成・新設」での考え方が大きいと考えている。 適正配置を進める上で地域の合意形成が一番難しい。今後地域での説明会も実施するが、委員の皆様には地域のリーダーとしてこれからもご協力をいただきたい。